



増刊号
2021.10.20
発行

take free
無料

題字・イラスト/金子伸子 デザイン/葉田いづみ 取材・文/玉川大学教育学部中西ゼミ 編集・発行/宇野津暢子 協賛/玉川大学印刷/レトロ印刷jam
【お問い合わせ先】nu821@zj9.so-net.ne.jp 1a090-3473-3872
*玉川つばめ通信増刊号は3000部印刷し、配布しています。

ごあいさつ
玉川大学の学生が玉川学園の魅力に迫った増刊号です！
昨年に引き続き、中西ゼミの二期生で玉川つばめ通信の増刊号を出すことになりました。発行人である宇野津さんの協力のもと、7人の個性豊かなメンバーが取材に関わりました。コロナ禍によってなかなか全員で行動することができず、試行錯誤の日々が続きましたが、工夫しながら玉川学園の魅力について取材をしました。学生ならではの気づきや考えを楽しみつつ、ご覧ください。

玉川大学教育学部中西ゼミ

玉川学園周辺で見つけた！ 気になる 場所訪問



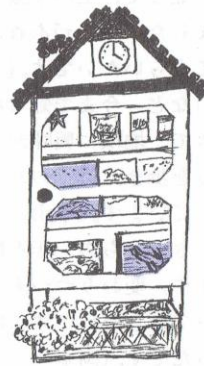
検索は「きんじょの本棚」で！

自宅やお店の前などに置かれた本棚から自由に本の貸し借りができる「きんじょの本棚」。民間図書館で働くきんじょようみゆきさんが3年前に始めました。きんじょようみゆきさんからスタートセットが届いたら開店可能。どこで借りてどこで返してもOK。玉川つばめ通信26号（2020年11月20日発行）で紹介されたときは12店でしたが、2021年10月1日現在64店に急拡大。コロナ下でも気軽に本が手に取れる場所を」という思いが共感を呼んでいます。ゼミ生でいくつか回りました。

「きんじょ」

話を聞いた人▼渡辺さんファミリー
青い屋根が目印。玉川学園前駅から一番近い「本棚」で運営はご家族がしています。
〇屋根がレゴブロックのようです。本棚のクオリティーの高さに驚きました。

屋根はペットボトルのキャップに色を塗りしました。高校生の兄がCGで設計、小学生の弟が木材で形にしました。



〇多くの工夫がありますね。

屋根の中のニワトリのオブジェには庭で飼っているニワトリが産んだ卵を殻を使い、小さな絵本はグリコのおまけです。小さな子でも見やすいように、子ども向けの絵本は下段に。暗くなるとソーラーパネルで灯りがつきます。通りがかりの人にも便利のように時計も置きました。

〇始めたきっかけは？
子どもたちがほっとできる居場所や、そのきっかけをつくりたいと思う出来事があったんです。私自身、読書で救われた経験もありました。

〇なぜ「つばさ」なんですしょう。
自由に開放的で、ひらがな3文字だと小さな子でもわかりやすい。「知の翼」という学習教材を開発したこともあり、教材に込めた「子どもたちには心につばさを持つて自分らしく羽ばたいてほしい」という願いとも重ねています。

〇開店後の反響は？
本を見ている姿を見て話しかけ、本の感想をもらうなど、コミュニケーションが増えました。ほかの店ともつながり、世界が広がった感じです。

「にちようめ ことり店」

話を聞いた人▼フーキさん
2丁目の玉川中央幼稚園そば。ことりの森広場の近くです。

〇店の名前の由来を教えてください。
広場や保育園の名前から？
メジロ、シジュウカラ、ムクドリなど、小鳥がうちにたくさん来るんです。小鳥たちが「落とし物」をして、知らない花が咲くこともある。これは「きんじょの本棚」に近いかなと思ったんですね。

〇開店のきっかけは？
コロナ禍で図書館が閉館して、本を手に入る機会が減ったのが残念だったからです。ボランティアで図書館に関わって

て、司書の資格も持っています。玉川つばめ通信のファンで、自宅の蔵書をそのまま出せば図書館になると考えました。ジャンルが偏らないように選んでいます。

〇文学の本がたくさんありますね。
玉川学園の方はお好きなようですね。新しい本との出会い以外にも、地域の方との新たなつながりができました。本だけでなく、お菓子や感想を書いた手紙をいただくこともあります。とても温かいまちだなと思います。

〇本がフィルムで保護されていますね。
表紙が破れたりしたら利用者が気まずくて返しづらいかもしいないので、かけています。

〇ほかにも工夫が？
雨の日は本が置けないので、代わりにうちに咲いたバラを置いたり、立ち止まって本を選ぶ人のために蚊取り線香を焚いたりしています。

「ひるずかぼう店・岡さん」

玉川つばめ通信発行人の宇野津さんとのつながりで始めました。週3回、店頭で野菜も売っているため主婦層のお客さんが多く、その方たちが手に取って読んでくれたり、本を持ってきてくれたりしています。



〇カフェラジック店・鈴木さん
近所のお店が「本棚」を始めて、その店主さんに勧められました。店の前で立ち止まる人が増え、本をきつかけに本店の中央まで入ってきてくれる人もいました。

〇みるく店・石井さん
元々ラジックの鈴木さんと交流があり、鈴木さんが始めたことだったのでうちも始めました。以前から店内にパンに関連する本や雑誌を置いたコーナーがあったのですが、外に「本棚」を置いたことで、通りがかりの人にも気軽に手にとってもらえるようになりました。

